

歯科受診のすすめ

～パンフレットの活用～



看護部 口腔ケアグループ

私たち口腔ケアグループは

- がん治療を受けるすべての患者さんが口腔ケアの必要性を理解できるような働きかけをしています。
- 地域歯科医院との連携を充実させ、スムーズに診てもらえるようなシステム作りを進めています。
- 口腔粘膜炎は患者さんの生活に大きく影響するため、口腔内粘膜炎を支援できるように看護師をはじめスタッフの育成をしています。



がん治療には口腔管理が大切です

- がん治療では、口腔粘膜炎を生じさせる治療が多くあります。
- 治療前にあらかじめ、歯科的治療を行うことで、口の中の症状出現の予防、悪化予防につながります。
- また、治療中や治療後も定期的な歯科受診と正しいセルフケアが必要です。



歯科で診てもらう主な内容

- ①虫歯の有無
- ②歯周病の有無
- ③義歯のある場合はその調整



抗がん剤や放射線の口腔粘膜に対するケアはもちろんですが、唾液分泌が減少し自浄作用の低下時や、抗がん剤によって骨髄機能が抑制されたときの口腔内感染が怖いので、口腔内をきれいに保つケアが必要です。


地域歯科診療所と協力してサポート

★かかりつけの歯科診療所があればそちらを受診してください。かかりつけがなければ当院と連携している医院を紹介します。

★診療情報提供書が必要な場合はお知らせください。

★歯科診療所で対応困難なケースは、当院の歯科で継続的に治療をいたします。





「歯医者さんに行くのはなあ...」って
ためらうことがあると思います。

- かかりつけの歯科医にがんのこと伝えていないし、知られたくない。
- 受診しても、「がんセンターでやってもらって」と言われる。
- 受診した理由をうまく伝えられない。
- そもそもかかりつけ医がない。
- 歯科にかからなければいけない理由が分からない。



**歯科受診のすすめの
パンフレットを**

活用して、歯科受診して
もらおう！

歯科受診のすすめパンフレット

- **がん治療を受ける患者さんが歯科受診の必要性を理解し、
歯科受診の動機づけの手助けとなるパンフレット**
- **歯科受診が必須の方に必要な情報を説明しています。**
 - ① **BMA製剤(ゾメタ、ランマーク)を使用する患者さん**
 - ② **口内炎を起こしやすい抗がん剤治療を受ける患者さん**
 - ③ **頭頸部領域の放射線治療を受ける患者さん**



口内炎を起こしやすい抗がん剤



発生頻度	薬剤名
60%以上	ビンクリスチン(オンコビン®) ビンブラスチン(エクザール®) ドキシソルビシン(アドリアシン®) フルオウラシル高容量(5FU®)
30~59%	メトトレキセート(メソトレキセート®) シタラビン(キロサイド®) パクリタキセル(タキソール®) ドセタキセル(タキソテール®, ワンタキソテール®) イダルビシン(イダマイシン®)
10~30%	アクチノマイシンD(コスメゲン®) マイトマイシンC(マイトマイシン®) ブレオマイシン(ブレオ®)
10%以下	エトポシド(ラステッド®, ペプシド®) シクロホスファミド(エンドキサン®)

代謝拮抗薬(TS-1®, ゼローダ®)や分子標的薬の内服薬も発生頻度が高い

口内炎時の食事の工夫

- 口当たりの良い、さっぱりした食事
- 味付けは薄味
- とろみをつけたりゼリー寄せにする
- 柔らかく水分のある料理
- ペースト状のものはなめらかで口当たりがやさしい



あなたの治療内容は

化学療法

レジメン名

放射線療法
(頭頸部領域)

照射部位

Gy

治療期間

年 月 日 ~ 年 月 日まで

歯科受診の際はこちらを参考にしてください。
不明な点がありましたら、
看護師にお尋ねください。



パンフレットの最後の
ページは
地域歯科医と
情報共有するのに
使ってください

パンフレットについては
化学療法センターや
放射線治療科の
窓口
にお尋ねください